

2026 年 1 月 16 日
西日本旅客鉄道株式会社

嵯峨野線・奈良線 春の混雑緩和に向けた対応について

嵯峨野線・奈良線では、お花見・ゴールデンウィークなどの春の行楽シーズンに多くのお客様のご利用が見込まれることから、これまでの多客期に引き続き、臨時列車の運転を行うとともに、一部の列車の両数を増やして運転します。

引き続き、お客様のご利用状況にあわせた混雑緩和や利便性向上に取り組んでまいります。

1. 嵯峨野線

臨時列車、両数を増やす列車

日 付	臨時列車	両数を増やす列車
【特に多くのご利用が見込まれる期間】 ・ 3/20,28 ・ 4/4 ・ 5/2~4	10 本	51 本
・ 3/7,14,21,22,25~27,29~31 ・ 4/1~3,5~7,11,18,19,25,26,29 ・ 5/5,9,16,17,23,24,30,31 ・ 6/6,20,27	—	44~50 本

※本数は 1 日あたり

※両数を増やす列車は、4・6両編成の列車を 6・8両編成に変更します

※沿線イベント開催時や車両運用上の都合により、上記の本数を変更する場合があります

2. 奈良線

臨時列車、両数を増やす列車

日 付	臨時列車	両数を増やす列車
【特に多くのご利用が見込まれる期間】 ・ 5/2,3	12 本	16 本
・ 4/4,5 ・ 5/4,5	—	16 本

※本数は 1 日あたり

※両数を増やす列車は、4両編成の列車を 6両編成に変更します

※沿線イベント開催時や車両運用上の都合により、上記の本数を変更する場合があります

※3月14日のダイヤ改正より、すべての快速列車が稲荷駅に停車します。

（参考）車内の混雑緩和、スムーズな乗降にむけた対応

車内の混雑緩和およびスムーズな乗り降りを行っていただくため、以下の対応を実施中です。

○補助シートをご利用いただける時間帯の短縮

※一部、補助シートが設置されていない車両があります



補助シート

今回ご案内の取り組みは、SDGs17のゴールのうち、特に11番に貢献するものと考えています。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

JR西日本グループは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

